

中山道広重美術館 令和5年度企画展

お江戸浮世絵プロデューサー

2024年2月29日（木）～3月31日（日）



浮世絵版画は、絵師、彫師、摺師の分業制により量産された商業出版物です。その企画から販売までの統括を行ったのは、浮世絵制作のプロデューサーともいえる版元（地本問屋）でした。叙情豊かな風景表現で知られる浮世絵師・歌川広重も、企画者である版元から依頼を受け、コンセプトや制作コストなどの意向に合わせて作画を手掛けました。その画の中を注視すると、広重の落款だけでなく版元の印章も見付けることができます。

本展では、出世作「東海道五拾三次之内」や最晩年の傑作「名所江戸百景」を通して、保永堂（竹内孫八）、紅英堂（蔦屋吉蔵）、魚屋栄吉など、広重の画業を支えた版元たちに注目します。そして、商品展開や販売戦略といった浮世絵出版流通の様相を探ります。

【展覧会概要】

展覧会名| お江戸浮世絵プロデューサー

会期| 2024年2月29日（木）～3月31日（日）

休館日| 毎週月曜日、3月21日（木）

開館時間| 午前9時30分から午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料金| 一般520円（20名以上の団体は420円）

※18歳以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

※毎週水曜日はフリーウエズデー、毎週金曜日はフリーフライデー（共に終日観覧無料）

※毎月第1日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料

会場| 中山道広重美術館 展示室1（〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1）

主催| 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館

【関連イベント】

◆担当学芸員による作品ガイド

日時| 前期3月10日（日）午前10時30分から（30分程度）

場所| 展示室1

◆美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日時| 随時（要事前予約）

【本展の見どころ】

浮世絵師・歌川広重を支えた版元たちを紹介

出世作「東海道五拾三次之内」や最晩年の傑作「名所江戸百景」を通して、保永堂（竹内孫八）、紅英堂（蔦屋吉蔵）、魚屋栄吉など、広重の画業を支えた版元たちを取り上げます。

版元の販売戦略に注目

広重による連作シリーズは、完結後に目録を加えた画帖仕立て（冊子形式）で販売されることもありました。複数の版元が共同で出版を行う場合もあります。版元のさまざまな販売戦略に迫ります。

画中に隠れた広告

浮世絵は、広告媒体としても機能しました。その画中には、さり気なく商品の広告が隠れていることもあります。仙女香（白粉）や美玄香（白髪染め）など、化粧品の新例をご紹介します。



左上から反時計回り（全て中山道広重美術館蔵）

- ・歌川広重「東海道五拾三次之内 小田原 酒匂川」
- ・歌川広重「富士三十六景 甲斐御坂越」
- ・歌川広重「名所江戸百景 佃しま住吉の祭」
- ・梅素亭玄魚「一立斎広重 一世一代 江戸百景」
（「名所江戸百景」目録）



【お問い合わせ】

中山道広重美術館

担当 常包美穂（学芸係）

TEL/FAX 0573-20-0522/0573-25-0322

E-mail staff@hiroshige-ena.jp（学芸共通）

中山道広重美術館公式 HP



公式 X（旧 Twitter）



公式 Instagram



HIROSHIGE_ENA_MUSEUM